

令和3年度食育に関するアンケート結果

このアンケート調査は市民の皆様への食育に関する実態把握を行い、今後の食育推進事業に活用させていただくことを目的に実施しました。

1 アンケート調査結果について

回収状況

(R3.12月時点)

対象	中学1年生の保護者	保育園年長児の保護者	食育関係事業	計
配布数	269	266	31	566
回収数	175	214	31	420
有効回答数	160	194	26	383

回答者属性

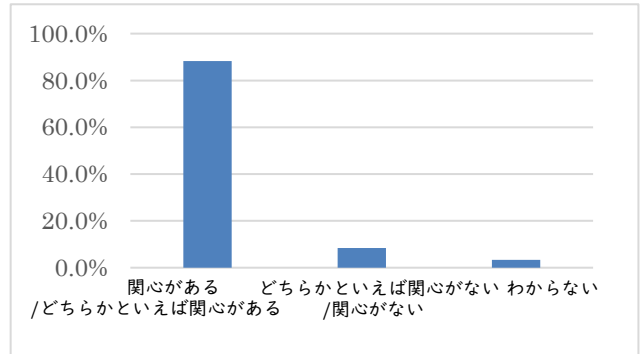
	全体		男性		女性		
	人数		人数		人数		
性別	383	—	30		353		
年齢	29歳以下	14	3.7%	2	6.7%	12	3.4%
	30歳代	185	48.3%	4	13.3%	181	51.3%
	40歳代	141	36.8%	12	40.0%	129	36.5%
	50歳代	18	4.7%	4	13.3%	14	4.0%
	60歳代	10	2.6%	4	13.3%	6	1.7%
	70歳代	10	2.6%	4	13.3%	6	1.7%
	80歳以上	5	1.3%	0	0.0%	5	1.4%
居住区	福江	265	69.2%	18	60.0%	248	70.3%
	富江	39	10.2%	2	6.7%	37	10.5%
	玉之浦	13	3.4%	2	6.7%	11	3.1%
	三井楽	26	6.8%	4	13.3%	22	6.2%
	岐宿	31	8.1%	3	10.0%	28	7.9%
	奈留	8	2.1%	1	3.3%	7	2.0%

2 現状について

(1) 食生活の状況

問1 あなたは「食育」に関心がありますか。それとも関心がありませんか。
あてはまる番号に○（まる）をつけてください。

1	関心がある	32.6%
2	どちらかといえば関心がある	55.6%
3	どちらかといえば関心がない	7.6%
4	関心がない	0.8%
5	わからない	3.4%



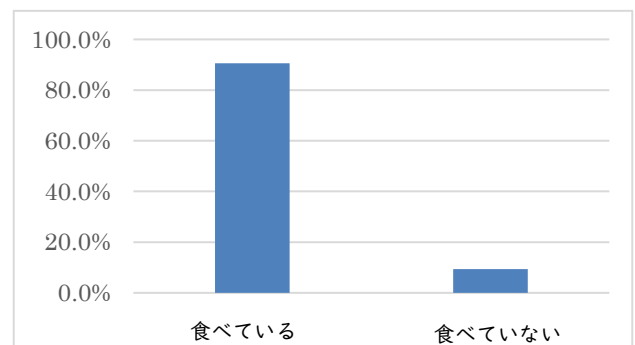
問2 「食育」で関心があることは何ですか。
あてはまる番号すべてに○（まる）をつけてください。

1	生活習慣病予防の食生活	48.6%
2	子どもの成長（発育）のための食生活	78.9%
3	バランスの良い食事	75.7%
4	共食（家族や友人と食卓を囲む）	46.7%
5	食の安全性	44.6%
6	食品ロス（食べ残しや食品の廃棄など）	35.0%
7	地産地消	32.1%
8	郷土料理	20.4%

【食生活の状況についてお尋ねします】

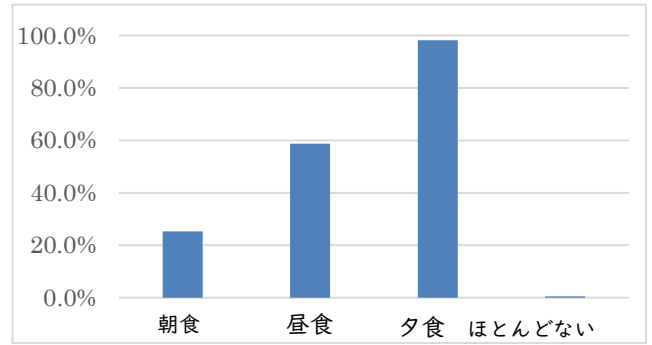
問3 あなたは「朝食」を食べていますか。

1	はい	90.6%
2	いいえ	9.4%



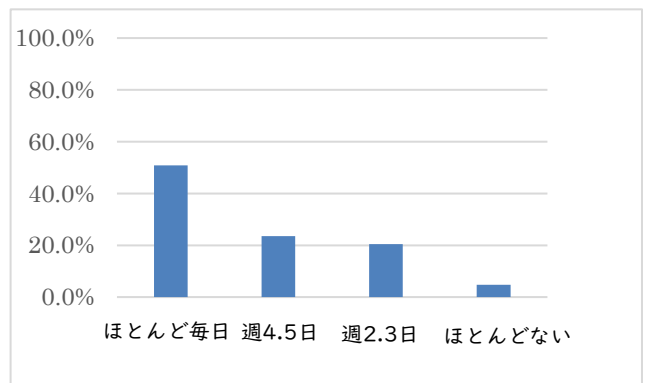
問4 朝食・昼食・夕食のうち、どの食事で野菜を食べますか。
あてはまる番号すべてに○（まる）をつけてください。

1	朝食	25.3%
2	昼食	58.7%
3	夕食	98.2%
4	ほとんど食べない	0.5%



問5 1日2回以上「主食・主菜・副菜」をそろえて食べることが週に何日ありますか。
あてはまる番号に○（まる）をつけてください。

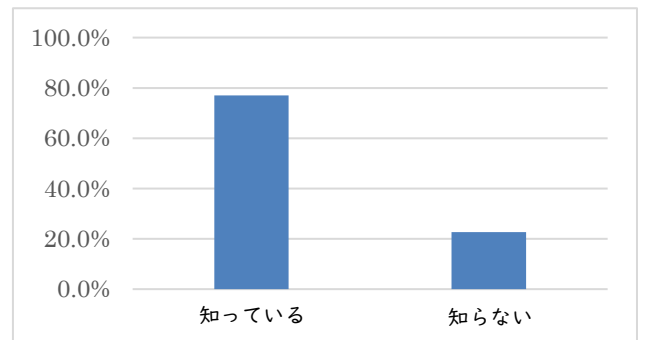
1	ほとんど毎日	50.9%
2	週に4～5日	23.5%
3	週に2～3日	20.4%
4	ほとんどない	4.7%



【食の安全性についてお尋ねします】

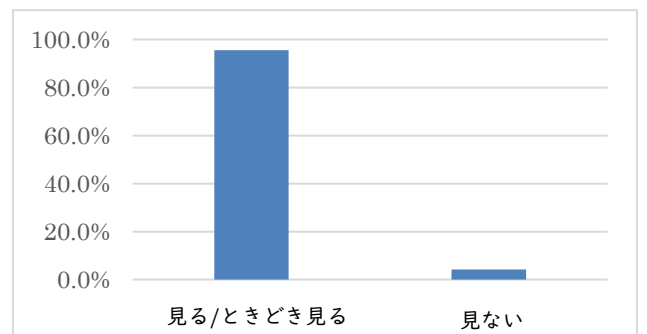
問7 カネミ油症事件は五島市で50年程前におきた事件であることを知っていますか。

1	知っている	77.0%
2	知らない	22.7%



問8 食品の表示（産地や栄養成分など）を見ますか。

1	見る	46.0%
2	ときどき見る	49.6%
3	見ない	4.2%



3 食に関するご意見等（自由記載）

子どもの食育	<p>食べ物で自分たちの体はできているので、子どもにも食べることの大切さや食事の楽しさを知ってほしいと思います。</p>
	<p>作る→育てる→食べるという経験を子供にさせるような取り組みがあると良い。 家庭ではなかなかできません。</p>
	<p>コロナで楽しく会食をすることが難しくなったことが悲しいです。 笑顔で食事を囲んでの楽しい時間は、大人も子供も大切だと考えています。 今はせめて家庭での夕飯を心穏やかに豊かな時間にしたいと思っています。</p>
	<p>給食をビュッフェ形式にする等子供自身が選択することを認め、その力を育ててほしい。</p>
	<p>食育に関心はあるが、日々の仕事や育児で毎日気を遣うのは難しい。</p>
	<p>栄養バランスを考えて作るのが難しい。 子供が食べる時食べない時があるので大変です。</p>
	<p>年齢にあった食事のとり方など同じ食材でも年齢の違う方々と同じ食卓で楽しめる食事のあり方など知りたい。 例 幼児：ほうれん草のお浸し（薄味） 成人：ほうれん草のお浸しにカリカリベーコン 老人：ほうれん草のお浸しにアマニ油 など</p>
	<p>五島の美味しいものをたくさん給食に取り入れてくれているのでとても有難いです。 家庭では作るものがほぼ決まっているので、これからも充実させてほしいです。 （子供たちから学校や保育園の給食が美味しかったので、家庭でも作ってと言われることがあります。）</p>
	<p>家庭菜園で野菜を育てているが、農園の方の育て方や講習や米作り体験など 育てるところから経験できる場が増えてほしい。育てることで本当に美味しく食べることができると思います。</p>
	<p>学校給食で地産地消の食材を取り入れるのが良いと思います。いつも安心安全な食事を準備していただけることに感謝しています。</p>
	<p>私は特に夏場食欲がなくなり、あっさりしたものばかり食べています。 子供は朝ごはんをあまり食べません。どうしたら朝ごはんをしっかりと食べられるようになるでしょうか。</p>
	<p>幼少期から骨付きの魚を食べさせて、魚に慣れさせてほしい。</p>
	<p>子どもたちが平気でご飯を残すので家庭科の時間を増やしたり、農業体験を増やしたりしてほしい。</p>
	<p>朝からお菓子を朝食がわりにしたり、遅い時間に夕食を食べたり家庭があるのが心配です。 食の重要性を保護者に周知してほしい。学力、運動力が低い家庭はやはり食が乏しいです。 朝食の栄養が足りているか気になる。</p>

食の安全性	給食での牛乳製品や加工品の提供について慎重に考えてほしい。
	食の安全性を出すのであれば保育園における3歳児以上の白米持参は良くないと思う。
	毎日のことではないので気にすることではないのかもしれませんが、給食や公のイベントなどで配られるジュースやお菓子が我が家の安心、安全の基準と違うなど感じる場合があります。 例) 100%果汁のものでも濃縮還元ではなく、国産ストレートにしてほしい。 給食のウインナーなど化学調味料や食品添加物のないものにしてほしい。
地産地消	五島へ来たことがきっかけで地産地消に興味がありました。生産者の方々を盛り上げるためでもあります、何より新鮮で美味しいです。
	魚が取れにくくなっていると聞いています。心配です。
	地産地消を続けられるようになり、生産者への支援に力を入れてほしい。素晴らしい食材を生産している一次産業従事者が安定した収入を確保できない。理想の農業にチャレンジできない。自然災害での被害を修復できずにやめてしまう等とても残念。食を支える人たちにお金を使ってほしい。
レシピ	園での給食のレシピも公開してほしい。自宅での調理の参考になる。野菜の使い方など。
	手軽に料理ができるように何か継続できるようなレシピの資料などあれば教えていただきたいです。
その他	家庭によって異なると思いますが、母親は比較的食に対する意識が高いように思います。 子供に対するアンケート全般に言えることだと思いますが、アンケートに答えるのはほとんど母親であるのではないかと思います。これを機に父親向けアンケートを実施していただき、男性にも食育や子育てに関心を持ってもらえたら全体的な意識も変わってくるのかと思います。
	栄養補助食品の活用について、食べすぎも良くないと聞くがどのように利用したら良いのか。子供にも大人と同じように食べさせて良いか。
	家庭菜園をする方たちの無農薬野菜への取り組みを野良猫が阻み、頭を抱える生産者を多数見ます。
	体に必要な栄養素を必要な時に必要なだけ考えながら食べることが大切だと思います。(子供と大人の必要な栄養は多少違うため)
	好きなものをきちんと摂取して食べすぎに注意することを心がけている。